

Point

「億首ダム建設に関する要望書について」の回答式、 「億首ダム本体工事に関する覚書」調印式を挙行。

億首ダムは、開発建設部が実施している沖縄東部河川総合開発事業（漢那ダム、億首ダム）の一環として、金武町にある水道用水専用の金武ダム（沖縄県企業局管理）を、「洪水調節」、「既得用水や河川維持用水の安定化等」、「水道用水・かんがい用水の供給」を目的とする多目的ダムとして再開発するもので、昭和53年度より実施計画調査、平成5年度より建設事業に着手しています。

億首ダムの建設にあたっては、ダムの基本計画策定時に沖縄総合事務局、沖縄県並びに金武町の3者において、ダム建設地元の地域振興のための諸施策の推進に努めながらダム建設を推進していくこととされました。「要望書」とは、金武町及び億首ダム関係3区が地域振興を図る上で要望する諸事項を取りまとめ、金武町より沖縄総合事務局及び沖縄県に対し提出されていたものです。このたび要望事項に関する対応方針がまとまったことから、平成18年8月25日をもって、沖縄総合事務局及び沖縄県より金武町あて、「億首ダム建設に関する要望書について」の回答を行いました。

書」とは、沖縄総合事務局、沖縄県並びに金武町の3者が、ダム建設地元の要望事項の実現に誠意を持って努力すること、並びに、ダム本体工事の実施に同意し、その事業に積極的に協力することを確認するものです。覚書の調印は、沖縄総合事務局・沖縄県知事並びに金武町長の3者と、立会人として億首ダム関係3区長の6者で要望書回答式に引き続き行われました。

「本日このように億首ダム本体工事に関する覚書の調印式を行えるのは、地域の皆様の御理解と関係された皆様の御努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後とも億首ダムに対する一層の御理解と御協力をお願いします。」との挨拶がありました。

回答式・調印式は終始和やかな雰囲気の中で行われ、調印式終了後の祝賀会では、金武町関係3区の方々の余興が披露され、琉舞や子供たちの獅子舞の演奏で会場を盛り上げていただきました。

今後、ダム事業を進めるにあたっては、工事施工中の安全対策や環境対策に万全を期すよう努めるとともに、億首ダムが地域の皆様に親しまれ、地域活性化に貢献できるよう、引き続き関係機関の皆様や地域の皆様との連携を図って行きたいと考えています。



回答書の手交



握手



億首ダム完成予想写真